

8名以上が必要

- (1)すでに、体育館の玄関側に机とイス、間仕切りが配置されています。手順6により
- (2)この手順に必要な道具類は、備蓄倉庫内に【手順No.8用具一式】と表示して保管していますので持ってきてください。別に「園芸用支柱」2本も必要です。
- (3)◎に掲示物「①事前（保健）受付」を立ててください。

設置の際は、「園芸用支柱」の先に掲示物を貼り、支柱の下部を机の脚に（養生テープで）固定してください。
人の混雑に隠れないよう高い位置にセットします。



- (4)発熱等区分一時待機場所の掲示物は下図の場所に貼ってください。
- (5)用紙類、筆記具などの配置は、後記「No. 8 - 3以降」を読み、流れがわかったところで役割分担を行い、役割ごとに準備してください。

手順6では、ここに道具置き場用の机を2個設置することになっています。

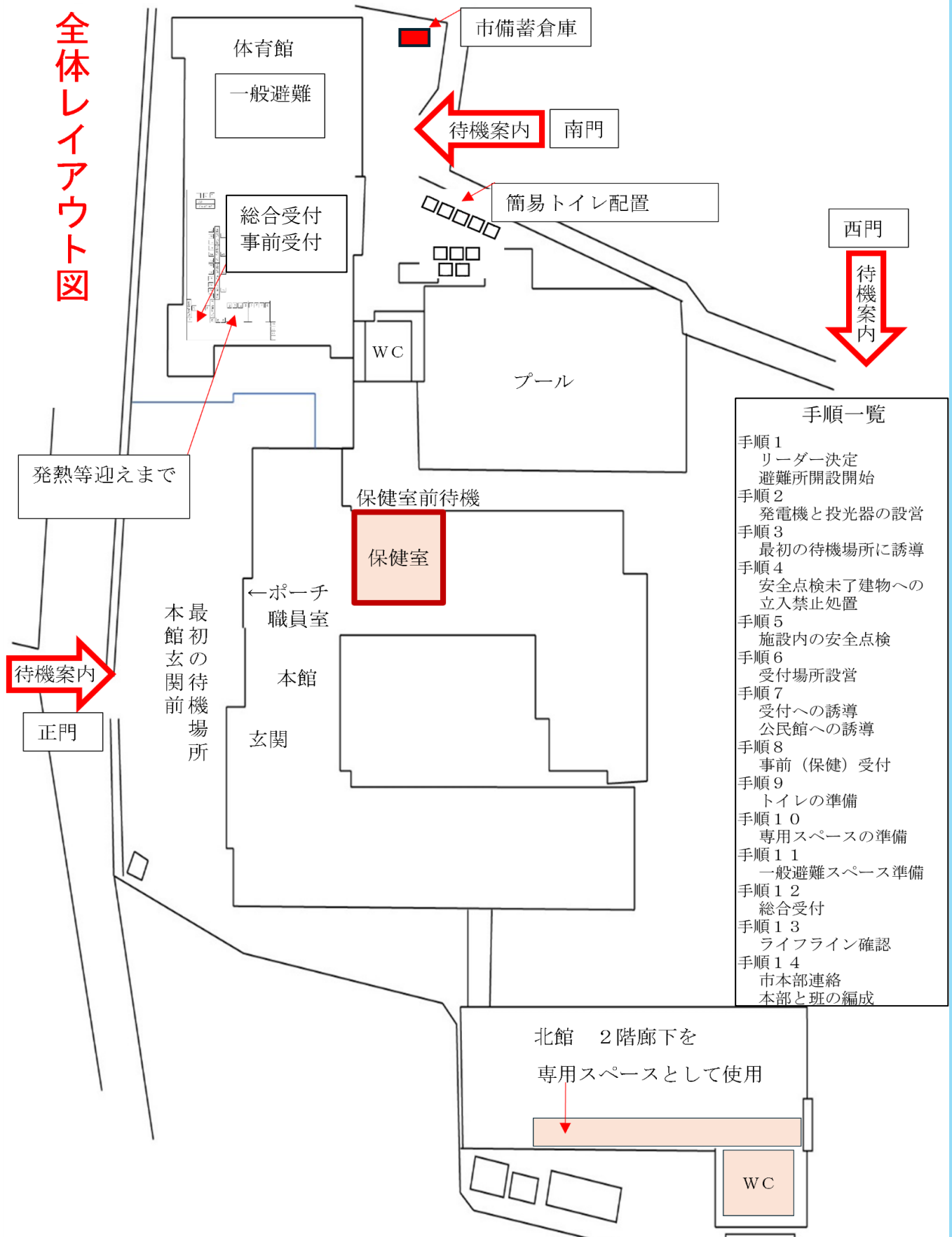


下記掲示物を貼る

**発熱等区分
一時待機場所**
専用スペースから迎えが来ます

体温測定を
担当する人
のイス

全体レイアウト図



手順一覧

- 手順1 リーダー決定
避難所開設開始
- 手順2 発電機と投光器の設営
- 手順3 最初の待機場所に誘導
- 手順4 安全点検未了建物への立入禁止処置
- 手順5 施設内の安全点検
- 手順6 受付場所設営
- 手順7 受付への誘導
公民館への誘導
- 手順8 事前（保健）受付
- 手順9 トイレの準備
- 手順10 専用スペースの準備
- 手順11 一般避難スペース準備
- 手順12 総合受付
- 手順13 ライフライン確認
- 手順14 市本部連絡
本部と班の編成

（6）事前（保健）受付の方法

- ①体温を計測する担当2人を決めます。その2人は、体温計を持ちNo.8－1に図示した2か所のイスにそれぞれ座ります。
- ②体温を記入する担当2人を決めます。その2人は「健康状態チェックカード」の用紙を2か所の「机①事前受付用」に配置し、机前のイスに着席。
- ③体育館に入ってくる避難者を案内する担当2人を決めます。案内担当は、避難者を整列させ、順々に体温測定担当の前に誘導します。
- ④体温測定担当は、体温を測定し、測定した体温を記入担当に（大きい声で）伝えます。
- ⑤記入担当は、白紙の「健康状態チェックカード」に伝えられた体温を記入してください。

記入した時、体温37.5度以上であれば、記入した「健康状態チェックカード」を避難者本人に持たせて、「発熱等区分一時待機場所」に入れるよう案内担当者に引き渡してください。

記入した時、体温37.5度未満は、記入した「健康状態チェックカード」を避難者に渡して「②番受付」に向かうよう指示してください。

（②番受付から奥はNo.12総合受付になります。）

- ⑥「発熱等区分一時待機場所」に案内する担当者は、次のとおり説明してあげましょう。

体温が37.5度以上の避難者は

感染防止のため校舎北館2階に専用スペースを設置しています。担当者が迎えに来ますから「発熱等 一時待機場所」に入りイスにかけて待っててください。

⑦健康チェックカードの扱い

健康状態チェックカード	
記入日： 月 日	
当日の体調を記入し、受付に渡してください。	
氏名	(年齢： 歳)
◆体調について	
・ 発熱はありますか (体温 . 度)	はい・いいえ
・ 息苦しさがありますか	はい・いいえ
・ 味やにおいを感じられない状態ですか	はい・いいえ
・ 咳やたんがありますか	はい・いいえ
・ 全身倦怠感（だるさ、疲れ）がありますか	はい・いいえ
・ 嘔吐や吐き気がありますか	はい・いいえ

「体温記入」する箇所です。この紙は、体温だけ記入したら、白紙のまま渡します。内容は、本人が「②番受付」で記入します。

体温計は、性能の良い国産品を準備しています。取扱い説明書を落ち着いて読み、対象者のひたいを非接触で計測する方法を採用すれば順調に進みます。

(7) 感染防止

前記手順の掲示物と書類・筆記用具等の配置ができた時に、防護服・マスク
手袋・フェイスシールドを装着してください。

(8) 医療救護 事前（保健）受付・リーダー・総合受付の三者連携

直ちに医療機関への搬送を行う、あるいは医療的応急処置の必要に迫られて
いる避難者が到着した場合、リーダーに報告し指示を得てください。

また、総合受付の担当者にも状況報告を行ってください。

総合受付情報により、避難者の中から医療関係者の救護や、搬送その他の協
力を得られる可能性があります。

対象者に余裕があれば、保健室に一時待機させてください。

(9) 保健室対応

保健室の解錠を待つなどの場合は、掲示物「部屋の前で待機」を貼ってくだ
さい。

保健室

**準備が整うまで
部屋の前で待機**

(10) この手順の人員確保

体温測定2人・体温記入2人・発熱待機誘導2人・医療救護2人の計8人
が最低所要人数ですが、長時間対応となる場合や応急処置対応が増えること
を考えると、2倍の人数が理想となります。

リーダーと連携を保ち適切な人員確保に努めてください。

事前（保健）受付の進捗状況を、
適時にリーダーに報告してください。

現在の担当を交代するチームが来たら
この手順書をリーダーに返却しましょう！